

麦作情報 第4号

J A む な か た
北筑前普及指導センター

今年度の麦は、11月中旬播きの生育は平年並み～やや早く、11月下旬以降播きは平年より遅く、播種時期の違いによる生育差が大きく、茎立ち期になっている圃場も一部見られます。

向こう1か月の季節予報では、気温が高く曇天の日が多いと予想され、麦の生育収量への影響が心配されるため、麦の収量安定のために以下の技術対策を実施しましょう。

1. 排水対策

- うね溝とまくら溝の連結、及び排水口の整備を徹底して、ほ場内の水がただちに流れ出るよう努めて下さい。(畝間に表面水が停滞しない状況をつくる)
- ほ場が乾き次第、雑草防除を兼ねて土入れを行い、排水溝を作る。

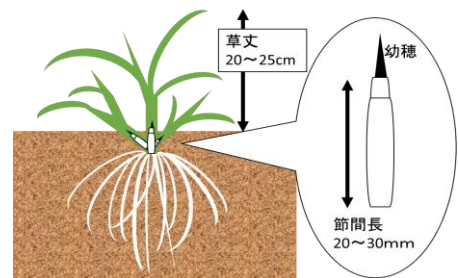
2. 土入れ

- 2月下旬頃までに1～2回行う。
- 土入れは麦踏み前に行い、麦踏み後、数日間は土入れを避ける。
- 土入れは排水対策の他、倒伏防止や雑草防除、過繁茂抑制に有効で、特に茎数の多いところは十分に行う。
- 追肥直後に土入れを行うことで、肥料効率を上げる。

3. 麦踏み

図：茎立ち期（節間伸長開始期）の目安

- 茎立ち期前まで、土壌が乾燥している時に行う。
- 草丈が25cmを超える場合は麦踏みは行わない。
- 節間が地上まで伸び、茎が折れるような場合は、減収するため作業を中止する。



4. 雑草対策

対象雑草	カラスノエンドウ、ノミノフスマ、ヤエムグラ、タデ類などの広葉雑草	ノミノフスマ、ヤエムグラ、トゲミノキツネノボタン、タデ類などの広葉雑草	スズメタネツボリなどのイネ科雑草及びノミノフスマ、トゲミノキツネノボタン、タデ類などの広葉雑草
薬剤名	アクチノール乳剤	バサグラン液剤	ハーモニー75DF 水和剤
使用量(10a)	100~200ml	100~200ml	5 ~10g
使用回数	2回以内	1回	1回
希釈水量	70~100ℓ	70~100ℓ	100ℓ
使用時期	穂ばらみ期まで (雑草生育初期)	大麦：生育期(雑草の3-6葉期) (但し、収穫90日前まで) 小麦：生育期(雑草の3-6葉期) (但し、収穫45日前まで)	大麦：は種後～ 節間伸長前まで 小麦：は種後～ 穂ばらみ期まで (但し、収穫45日前まで)

※バサグラン液剤は登録上、大麦での使用限界はおよそ2月15日から25日までです。
またカラスノエンドウに対して効果が劣りますので、アクチノール乳剤を使用して下さい。

※ハーモニー75DF水和剤は、小麦のみ登録拡大で穂ばらみ期まで使用可能になりましたが、大麦は茎立ち期以後には登録がないため、茎立ち後は使用しないでください。

《使用上の注意点》

- ☆雑草が大きくなると効果が劣るので、雑草生育初期までに散布する。
- ☆効果安定の為、天候を考慮し降雨時の散布は避ける。
- ☆雑草の茎葉全体に十分に薬液がかかるように散布する。

5. 小麦追肥（穂肥）（NK2号で1回目の追肥を行った方）

播種時期	施用時期	施肥量（NK2号）
11月～ 12月中旬	2月中旬～ 3月上旬	15kg/10a

- ★早播き麦で葉色の落ちている圃場では、追肥で調整してください。
- ★1回目の追肥に追肥一発肥料グッドIB506を施用した場合は、穂肥（2回目の追肥）は施用しません。
- ★播種が遅れ、1回目の追肥を行っていないほ場では、2月中旬頃に追肥を行ってください。なお、2回目の追肥については、生育状況を見ながら、減肥または省略してください。

※ビール大麦では追肥1回のみで穂肥（2回目の追肥）を施用しません。